



1 日・ポーランド包括的戦略的パートナーシップ

- 日・ポーランド戦略的パートナーシップに基づく二国間関係の深化及び国際安全保障情勢の複雑化を受け、二国間関係を「**包括的戦略的パートナーシップ**」に格上げ。

2 世界の戦略・安全保障環境

- ルールに基づく国際秩序を力強く支持し、力又は威圧による一方的な現状変更の試みに強く反対。
- **ロシアのウクライナ侵略を非難するとともに一貫したウクライナ支援を再確認。公正かつ永続的な平和を実現するため復興・復旧に向けた緊密な両国間協力を表明。また、露朝協力への深刻な懸念を表明。**
- 米国とイランが4月8日に発表した一時停戦を前向きな動きとしつつ、**ホルムズ海峡の航行の安全を含む事態の沈静化の重要性を強調**。外交を通じた最終合意が早期に成立することを期待。中東地域の平和と安定に向けた外交努力の継続を再確認。
- **自由で開かれたインド太平洋（FOIP）の必要性を強調**。東シナ海・南シナ海を含め力又は威圧によるあらゆる現状変更の試みに強く反対。**台湾海峡の平和と安定の重要性を再確認し、対話を通じた平和的解決を促す**。国連安保理決議に従った**朝鮮半島の完全な非核化**に引き続きコミット。**拉致問題の即時解決を北朝鮮に強く要求**。
- 強靱かつ信頼できるサプライチェーンの構築を含む経済的強靱性、経済安全保障における協力を強化し、経済的威圧や重要鉱物等の輸出規制に対処していくことを確認。

3 二国間関係の新たなフェーズ

- ハイレベル協議を通じて政治、安全保障、貿易、投資等の協力を強化していく。
- AI等における共同イノベーションや学術交流を促進していく重要性を強調。
- トウスク首相の訪日の機会に、**3つの成果文書に署名**。
 - 日・ポーランド社会保障協定
 - 農業分野の協力に関する協力覚書（MoC）
 - 宇宙機関間の共同宣言